

たいせつな人を
なくした
子どものための

あそびとおしゃべりの会

グリーフプログラム@ふくしま

のご案内

グリーフプログラム@ふくしま

日時 毎月1回 午後1時～4時

※詳細の日程はお問合せください

場所 福島市市民活動
サポートセンター（福島市）

（JR福島駅から徒歩8分）

※会場は変更になる場合があります

対象 大切な人を亡くした経験をもつ子ども

- ※ 父親、母親、きょうだい、祖父母、友達など
- ※ 震災、病気、事故、自死など死因は問いません
- ※ 年齢は小学生が中心ですが、未就学児や中学生もご相談ください
- ※ 保護者の会も同時に開催しますので、ぜひお子様と一緒にお願いします



グリーフプログラムに遊びに来てみませんか？

グリーフプログラムでは、親やきょうだい、祖父母、友達などの大切な人を、震災や病気、事故、自死などにより亡くした子どもたちが集まり、一緒にお話をしたり、体を動かしたり、ゲームをしたり、絵を描いたり…、自分の好きな遊びをして過ごします。思い思いの時間を過ごしながら、自分の気持ちに丁寧に触れることができればと思います。グリーフプログラムは、毎月1回開催します。保護者の会も同時に別の部屋で開催しますので、ぜひ一緒にご参加ください。※参加費は無料です

参加するには

まずは下記連絡先までご連絡ください。詳しいご説明をさせていただきます。プログラムに参加される際には、お子様のお名前・ご年齢（学年）・性別を、開催日の1週間前までにご連絡ください。

………申し込み・問い合わせ先………

NPO 法人子どもグリーフサポートステーション
TEL 022-796-2710
E-mail info@cgss.jp

メール用
QRコード



グリーフプログラム@福島 開催日程

12月 2014年12月27日（土）
13時～16時

1月 2015年1月24日（土）
13時～16時

※ 2015年2月以降も毎月1回開催いたします。
日程はお問合せいただくかホームページをご覧ください

お子様に説明される際は裏面をご覧ください

この事業は、朝日新聞厚生文化事業団に寄せられた東日本大震災救援募金によって運営されています。

グリーフって？

大切な人を亡くしたときに感じる、さまざまな感情のことです。

具体的には？

寂しい、悲しい、愛おしいという気持ちや、怒り、自責、不安など、さまざまな気持ちです。

それって病気なの？

グリーフは病気や異常ではありません。健全な成長の過程といえます。しかし、ときには手助けの必要なきももあります。

それがあるとどうなるの？

これらの気持ちは、さまざまな行動として表れることがあります。落ち着かない・はしゃぐ・活気がない・退行・親から離れない・攻撃的な行動・ひきこもる・学習に集中できない、などが挙げられます。また、頭痛や腹痛などの身体症状として表れることもあります。

どうしたらいいの？

子どもたちが抱える気持ちを、話すことや遊ぶことで表現したり、同じような体験をした人たちと分かちあうことが手助けになることもあります。



主催：NPO 法人子どもグリーフサポートステーション

NPO 法人子どもグリーフサポートステーション

東日本大震災や病気、事故、自死などでたいせつな人を亡くした子どものサポート活動を行う。平成24年11月、仙台市青葉区に朝日新聞厚生文化事業団とともに拠点を立ち上げ活動に取り組んでいる。震災前から宮城県でグリーフサポートに取り組んでいた仙台グリーフケア研究会の子どもを対象にした活動も引き継いでいる。平成25年2月に法人格取得。4月より、陸前高田市に職員を1名常駐させ、宮城県及び岩手県沿岸地域での活動を開始。

現在、小中学生を対象に月2回のグリーフプログラムを仙台市と陸前高田市で開催。その他、高校生プログラム（仙台市）、ファシリテーター（ボランティアスタッフ）養成、グリーフキャンプへの協力等を行う。

全国で子どものグリーフサポートの輪を広めるべく普及啓発に取り組んでおり、札幌、福島、東京、大阪、福岡で現地の有志とともに場づくりに取り組んでいる。

朝日新聞厚生文化事業団に寄せられた東日本大震災救援募金により運営している。

グリーンプログラムってなに？



おしゃべり
たの
楽しいね♪



イライラ
ばくはつ！

たいせつ
なくした大切な
人はどんな人だった？



ビーズで
いろ
色んな形を
つく
作ってるよ。



しんけん
ゲームに真剣！



いつ？

まいつき かい ふくしまし かいさい
毎月1回、福島市で開催します。

どんなことするの？

- 13:00 集^{しゅうごう}合
- 13:10 じこしょうかい～あそびの^{じかん}時間
- 14:30 おやつ^{おやつ}タイム
- 15:00 おはなしの^{じかん}時間～あそびの^{じかん}時間
- 15:40 おかた^おづけ
- 15:50 おわりの^わ輪
- 16:00 おしまい☆

どんなひとがいるの？なにをするの？

おとうさんやおかあさん、きょうだい、
おじいちゃん、おばあちゃん、お友^{とも}だちなど、
たいせつな人をなくした子どもたちが来てくれます。
他^{ほか}には、ファシリテーターと呼ばれるおにいさんや
おねえさん、おじさん、おばさんが来て、
一緒^{いっしょ}にあそんだり、お話ししたりします。
ここでは、あそびたいときは思いきりあそんでも
いいし、ひとりになりたい^{とき}時には静かに^{しず}過ぎて
いてもいいです。話^{はな}したいときはたくさん話^{はな}して
もいいし、話^{はな}したくないことは、話^{はな}さなくても
いいです。好^すきなように過^すぎしてね。

会場はここ！



福島市市民活動サポートセンター
(住所：福島市大町 4-15 チェンバおおまち3階)

アクセス：
福島駅より徒歩8分 ※駐車場はありません。お車でお越しの場合は、お近くの有料駐車場をご利用ください。
福島西ICより車で20分

プログラムの ルール (一例)



ひとのことをよそでは
はなさない
ないしょだよ



はなしたくないことは
バスできる

プログラム中に話したことは、外部に漏らしません。話したくないことは、話さなくても大丈夫。

グリーンプログラム参加者の声

まだ小さい息子がこれから成長していく中で、ここで会う子たちと仲間になってくれば、いいなと思います。
保護者・女性

ハハみだいに肩車してくれてうれしかった。
男の子・6さい

ファシリテーターとは、はなしやすかったよ。
女の子・7さい

泣いたり笑ったり怒ったりする参加者の方を見て、私もこんなふうに言える時が来るのかもしれないと感じた喜びは、言い尽くせないほどです。
保護者・女性

みんなもよかったら来てね♪

